

Ⅱ 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

平成21年の島根県の観光入込客延べ数は27,530千人で、これは前年と比べると、1,171千人(4.1%)の減となった。

区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数(千人)	27,530	5,561	21,969
構成比(%)	100.0	20.2	79.8
対前年増減(%)	-4.08	-5.49	-3.72

※ 県内客・県外客の別は、観光地点アンケート調査で得られた県内入り込み客率・県外入り込み客率を入り込み延べ数に乗じて算出。

※ なお、本調査結果での率の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合がある。

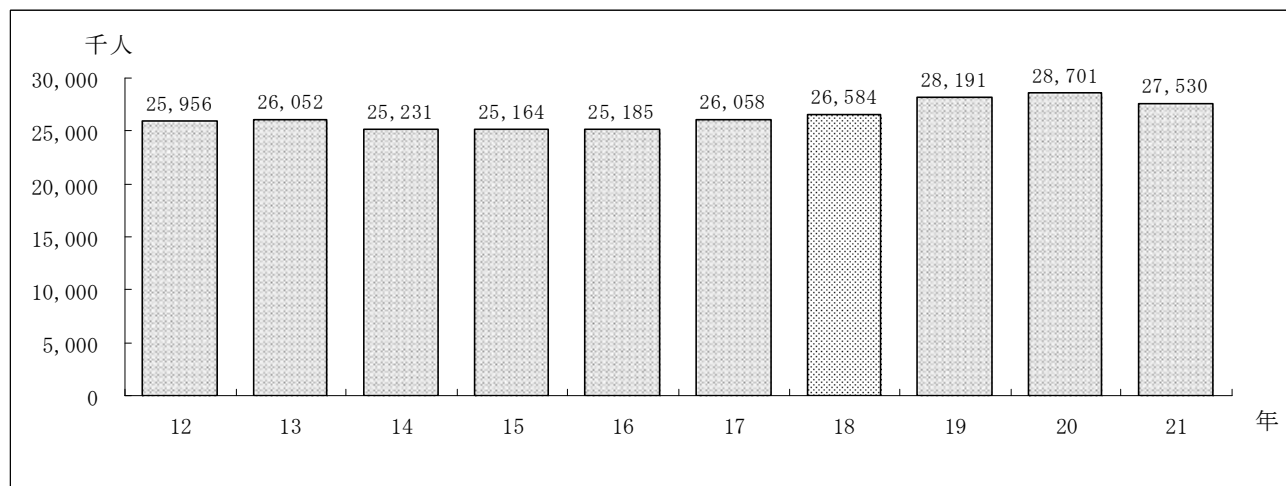
【主な増加要因】

- ① ETC割引制度導入による波及効果
- ② 12年に1度の「ホーランエンヤ」開催
- ③ 宍道湖しじみ館など調査対象の追加

【主な減少要因】

- ① 平成20年秋以降の景気低迷、新型インフルエンザの国内流行による影響
- ② 平成20年の出雲大社大遷宮効果の反動
- ③ 石見銀山世界遺産登録効果の平静化
- ④ 長雨・冷夏の影響による海水浴客等の減

〈観光入込客延べ数の推移〉



2. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数を基に観光地点アンケート調査で得られた数値により算定した観光客入込客実人数は11,373千人で、うち県内は3,482千人、県外は7,891千人と推計される。昨年に比べ全体的に減少した。

〈平成21年観光客入込客実人数〉

区 分	総 数	県内客・県外客別		宿泊・日帰り別	
		県内客	県外客	宿泊客	日帰り客
観光客入り込み実数(千人)	11,373	3,482	7,891	2,397	8,976
構成比(%)	100.0	30.6	69.4	21.1	78.9
対前年増減(%)	-5.15	-5.97	-4.79	-6.29	-4.84

※ 宿泊客：島根県内に1泊以上宿泊する観光客。

※ 日帰り客：旅行日程が日帰り及び宿泊であっても島根県内には宿泊しない観光客。

3. 観光消費額及び経済波及効果

観光客入り込み延べ数を基に、観光地点アンケート調査で得られた数値により算定した平成21年の県全体の観光消費額は1,198億円と推測される。

また、この観光消費額が県内に及ぼす、経済波及効果は1,389億円(観光消費額の1.16倍)と見込まれる。「しまね統計情報データベース」から試算

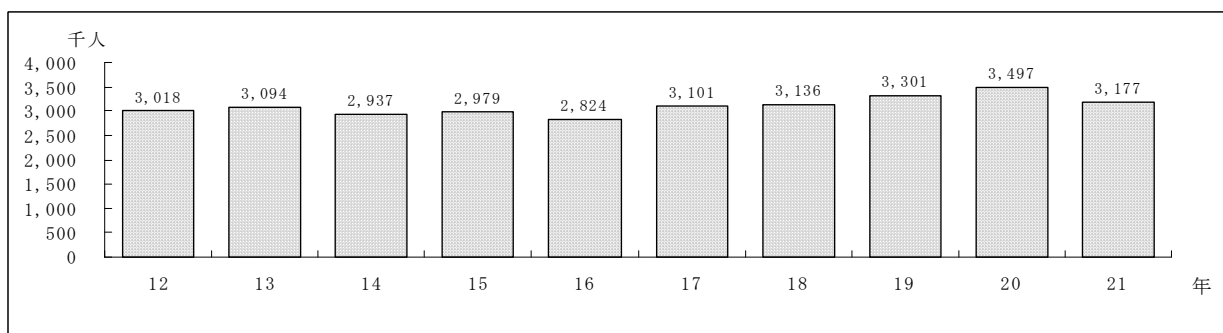
〈平成21年観光消費額〉

区 分	一人当たり消費額 A(円)	入り込み実数 B(千人)	年間消費額 A×B(千円)	対前年増減 (%)
県内客・宿泊	15,540	84.3	1,310,069	-30.88%
県外客・宿泊	26,672	2,312.7	61,685,508	-24.78%
県内客・日帰り	3,577	3,397.9	12,154,367	-7.84%
県外客・日帰り	7,999	5,578.4	44,622,206	-1.79%
合 計	—	11,373.4	119,772,149	-15.97%

4. 県内宿泊客延べ数

平成21年の島根県内宿泊施設への宿泊客延べ数は3,177千人で、これは前年と比べると320千人(9.1%)の減となった。

〈宿泊客延べ数の推移〉



区 分	ホテル 旅館	民 宿 ペンション	ユースホテル	社会教育 施設	公共宿泊 施設	キャンプ場	合 計
宿泊延べ数	2,614,487	115,977	0	74,789	260,133	111,958	3,177,344
構成比(%)	82.3	3.7	0.0	2.3	8.2	3.5	100.0
対前年増減(%)	-9.48	-13.28	—	-0.79	-6.83	-6.76	-9.13

※ ユースホテルは、旅館等により宿泊の延べ数が未集計となっている。

5. 外国人宿泊客延べ数

平成21年の島根県の外国人宿泊客延べ数は21,914人で、前年と比べ、10,236人(31.84%)の減となった。

平成15年度から始まった政府の「ビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)」により、全国的に官民あげて外国人観光客誘致に取り組んでいる。しかし、昨年秋以降の世界的な景気低迷、円高進行、新型インフルエンザの流行の影響により、外国人の訪問者数が減少し、特に韓国からの観光客が大きく落ち込んだ。

〈平成21年訪日外国人宿泊客延べ数〉

国籍	宿泊客延べ数 (人泊)		対前年増減 (%)
		構成比 (%)	
米 国	3,041	13.9	-45.44
カ ナ ダ	252	1.2	+5.44
中 南 米	139	0.6	-48.33
ヨ ー ロ ッ パ	4,067	18.6	-22.58
韓 国	1,938	8.8	-65.87
台 湾	3,862	17.6	-22.42
香 港	326	1.5	+735.90
中 国	5,020	22.9	-17.13
その他・アジア	1,122	5.1	+27.50
オセアニア	359	1.6	-52.83
アフリカ	32	0.2	-49.21
そ の 他	1,756	8.0	-25.50
合 計	21,914	100.0	-31.84

6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの入込客延べ数の上位10箇所は以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入り込み延べ数 (人)	対前年増減 (%)
松江市	8,874,127	+0.17
出雲市	7,731,678	-10.60
浜田市	1,759,569	-8.84
大田市	1,561,900	-16.91
津和野町	1,382,182	+16.59
安来市	1,338,599	-6.37
益田市	889,010	-8.74
雲南市	884,132	-6.12
斐川町	656,673	+5.99
奥出雲町	652,655	+7.26

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入り込み延べ数 (人)	対前年増減 (%)
出雲大社(出雲市)	2,307,000	-7.76
日御碕(出雲市)	1,134,000	-16.25
島根ワイナリー(出雲市)	873,425	-18.19
石見海浜公園(浜田市)	725,200	-12.00
太鼓谷稲成神社(津和野町)	699,772	+4.52
玉造温泉(松江市)	600,971	-11.84
三瓶山(大田市)	579,500	-3.03
石見銀山(大田市)	560,200	-31.11
道の駅キララ多伎(出雲市)	543,865	-5.79
足立美術館(安来市)	431,334	-14.98

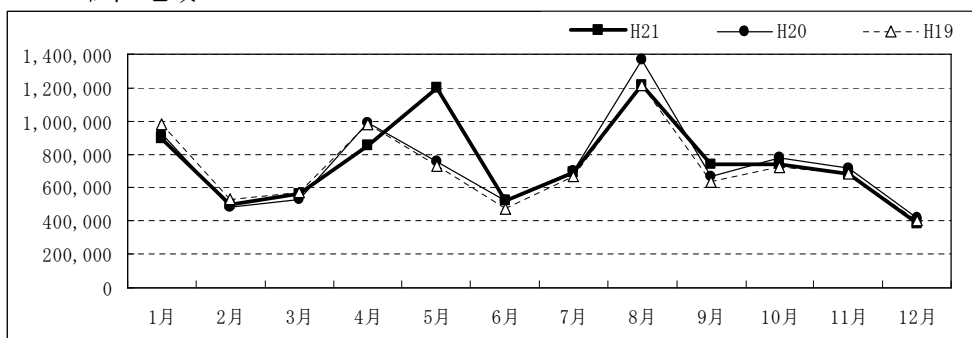
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光客入り込み延べ数を比べると、最も多いのが松江地域で8,994千人、次いで出雲地域で8,388千人、益田地域の2,490千人、大田地域の2,139千人、浜田地域の1,989千人、雲南地域の1,937千人、安来地域の1,339千人、隠岐地域の254千人の順となった。

前年と比較して、松江地域、雲南地域、益田地域が増加したのに対し、安来地域、出雲地域、大田地域、浜田地域、隠岐地域は減少した

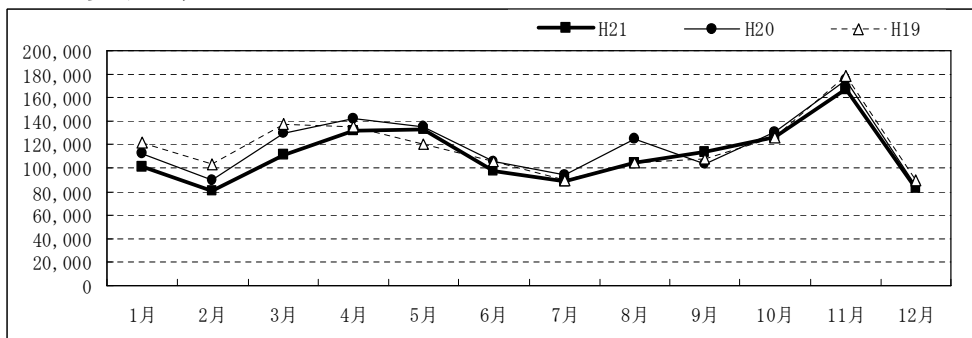
<地域別月別観光入込客延べ数>

<松江地域>



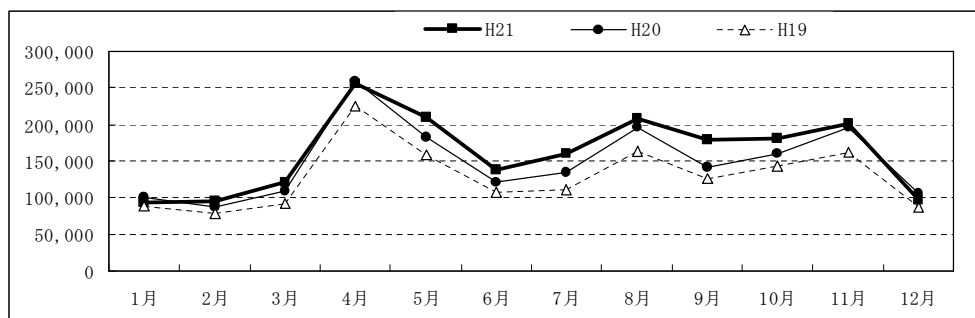
年	入り込み数
H21	8,994,127
H20	8,859,017
H19	8,599,114
対比	増減
H21対H20	+1.53%
H21対H19	+4.59%

<安来地域>



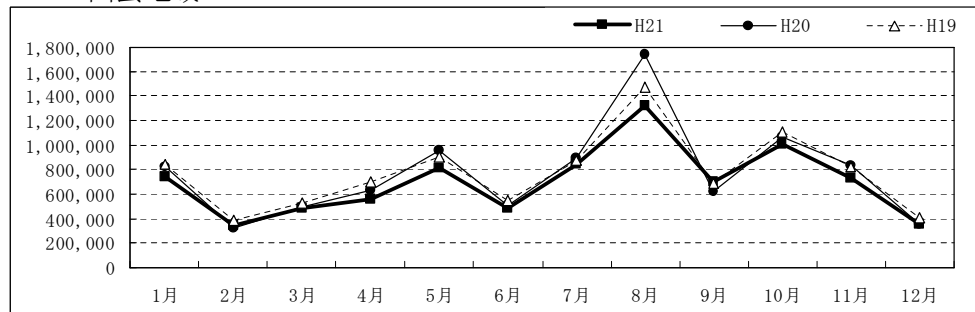
年	入り込み数
H21	1,338,599
H20	1,429,655
H19	1,421,337
対比	増減
H21対H20	-6.37%
H21対H19	-5.82%

<雲南地域>



年	入り込み数
H21	1,937,333
H20	1,792,616
H19	1,543,712
対比	増減
H21対H20	+8.07%
H21対H19	+25.50%

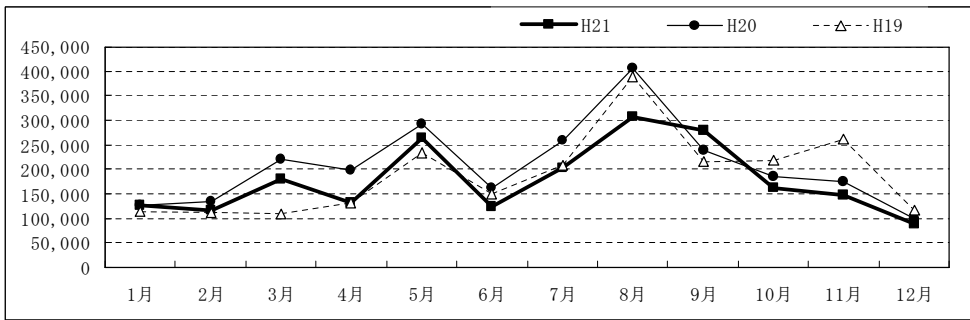
<出雲地域>



年	入り込み数
H21	8,388,351
H20	9,267,544
H19	9,279,686
対比	増減
H21対H20	-9.49%
H21対H19	-9.61%

<地域別月別観光入込客延べ数>

<大田地域>



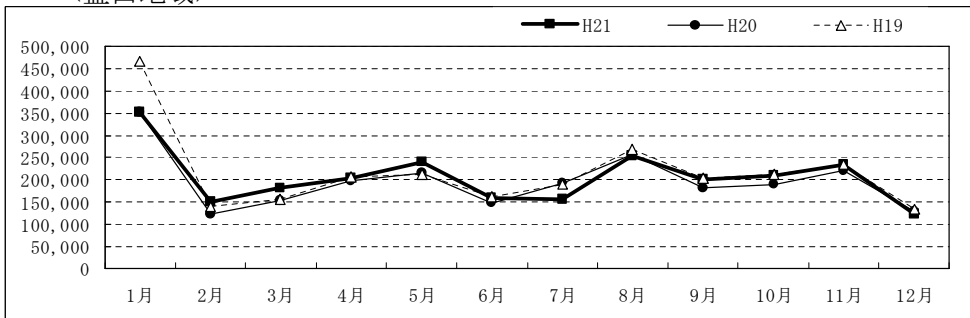
年	入り込み数
H21	2,138,885
H20	2,501,986
H19	2,264,680
対比	増減
H21対H20	-14.51%
H21対H19	-5.55%

<浜田地域>



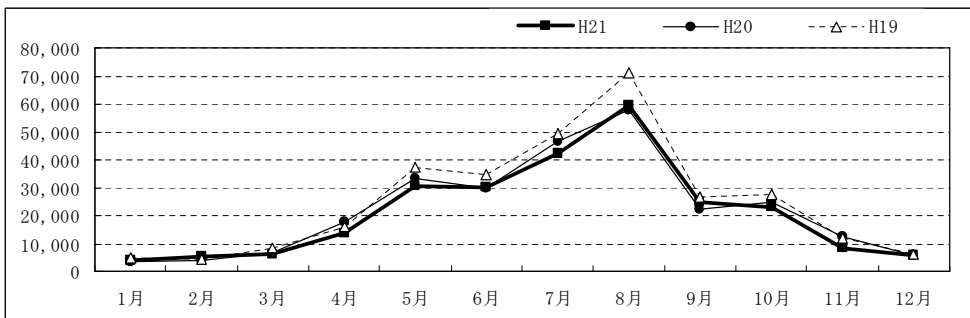
年	入り込み数
H21	1,988,594
H20	2,201,981
H19	2,158,483
対比	増減
H21対H20	-9.69%
H21対H19	-7.87%

<益田地域>



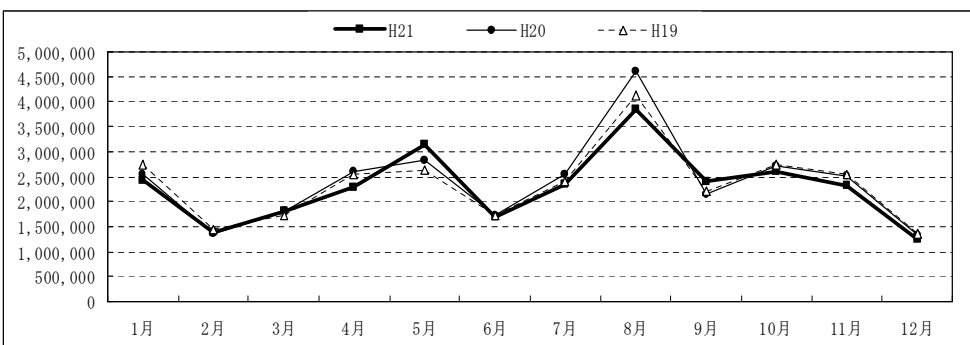
年	入り込み数
H21	2,490,390
H20	2,384,108
H19	2,624,932
対比	増減
H21対H20	+4.46%
H21対H19	-5.13%

<隠岐地域>



年	入り込み数
H21	253,982
H20	264,024
H19	299,057
対比	増減
H21対H20	-3.80%
H21対H19	-15.07%

<参考：県全体>



年	入り込み数
H21	27,528,111
H20	28,700,931
H19	28,191,001
対比	増減
H21対H20	-4.09%
H21対H19	-2.35%

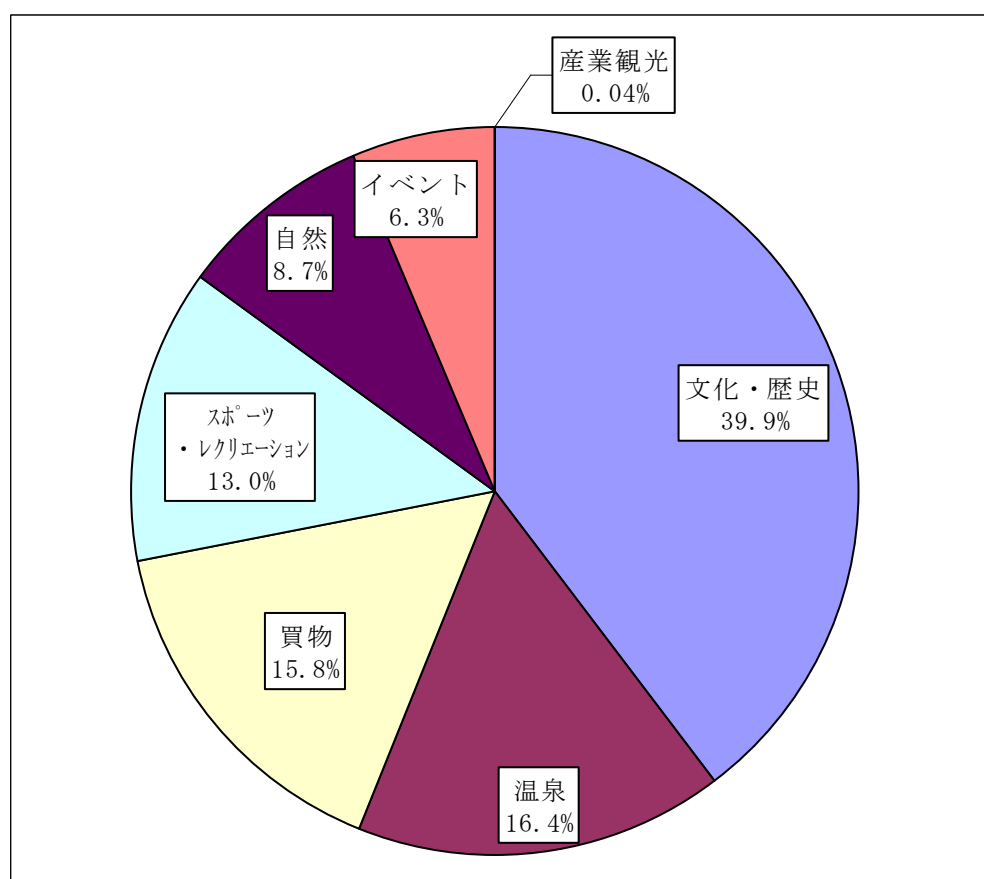
(3) 行動目的別観光入込客延べ数

市町村から報告のあった観光地点（施設等）を観光客の行動目的別（中分類）に分類、集計の上、比較すると、最も多いのが「文化・歴史」で全体の39.9%、次いで「温泉」が16.4%で、この2つで全体の56.3%を占める。

〈行動目的別（中分類）入り込み数〉

行動目的	学ぶ（見る・体験する）			遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）			触れ合う（交流する）	
	自然	文化・歴史	産業観光	スポーツ レクリエーション	温泉	買物	行・祭事	イベント
入込客 延べ数（人）	2,387,996	10,973,666	11,517	3,568,292	4,503,697	4,343,832	0	1,741,261
対前年増減 （%）	-12.1%	-5.8%	+5.4%	-8.95%	-3.6%	+1.6%	0	+19.7%

〈行動目的別（中分類）入り込み割合〉



〈行動目的別（小分類）入り込み数の上位5種類〉

行動目的			入り込み数 （人）	対前年増減 （%）
大分類	中分類	小分類		
学ぶ	文化・歴史	神社・仏閣	5,742,795	-3.5%
遊ぶ	温泉	温泉	4,503,697	-3.6%
遊ぶ	買物	朝市・市場	4,246,986	+0.4%
学ぶ	文化・歴史	博物館	1,764,949	-12.3%
触れ合う	イベント	その他イベント	1,599,034	+22.5%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

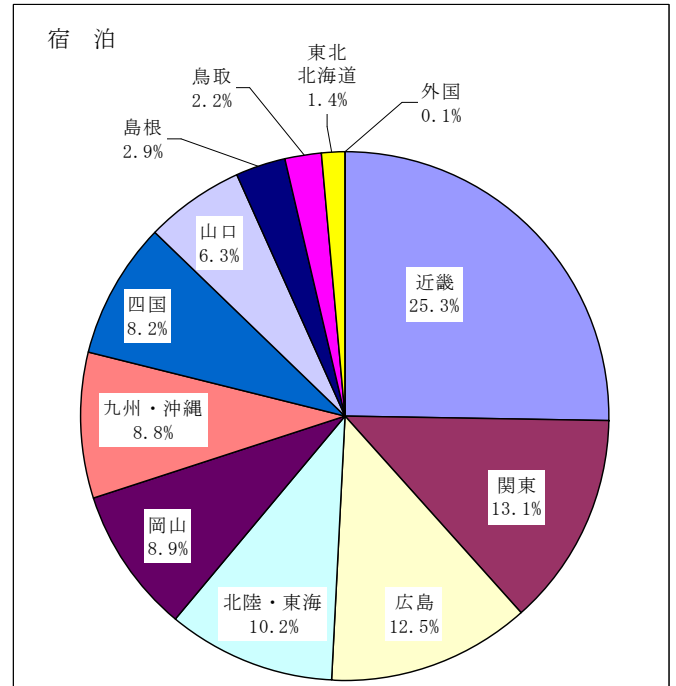
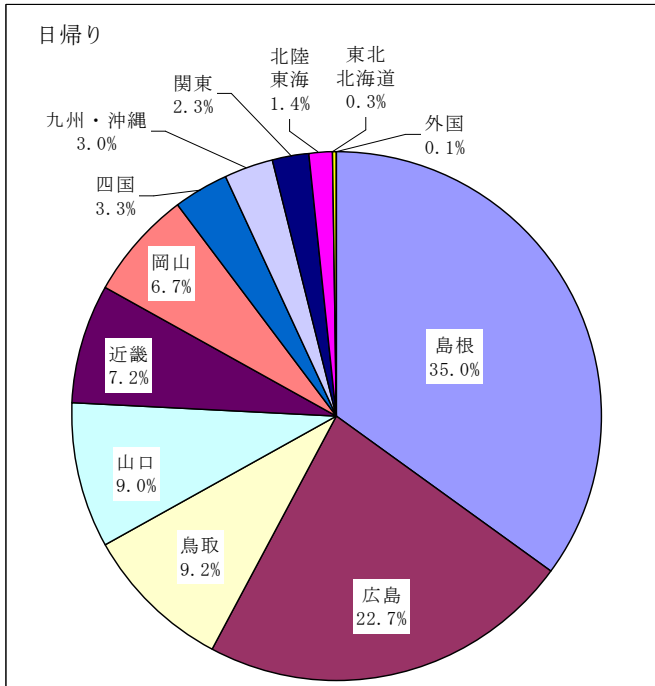
平成21年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

(1) 発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、島根県が最も多く 35.0%、次いで広島 22.7%で、中国 5 県からが全体の約 8 割(82.6%)を占める。

宿泊では、近畿が最も多く 25.3%、次いで関東 13.1%、近畿・関東地域を合わせると約 4 割(38.4%)を占め、中国 5 県の約 3 割(32.8%)を上回っている。



イ. 県外観光客入り込み割合

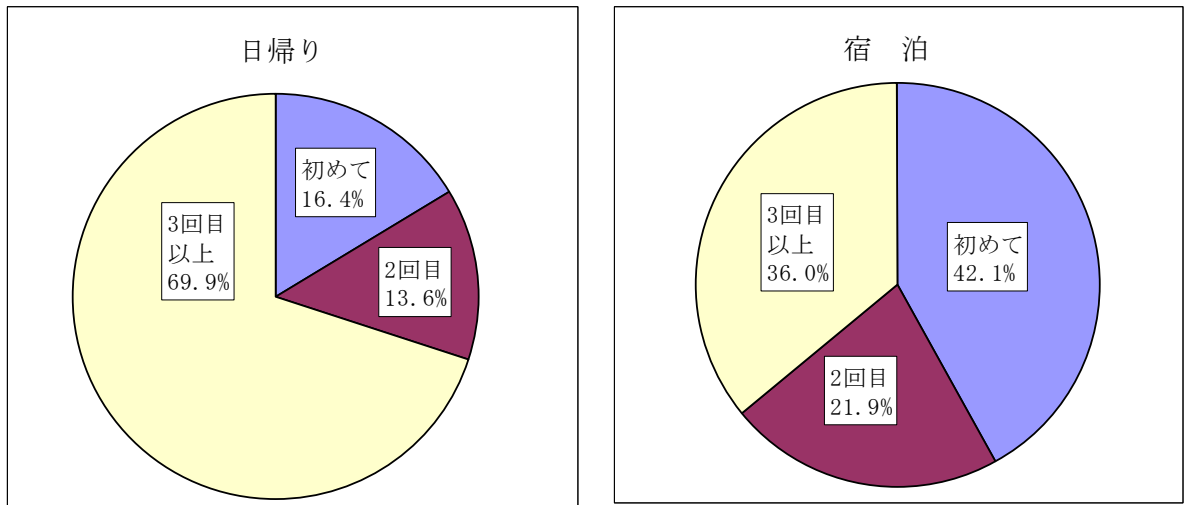
県外客の発地別入り込み割合は、広島からが最も多く 22.6%、次いで近畿 19.4%、岡山 9.7%、山口 9.7%の順となっている。中国 4 県を合わせると全体の約 5 割(49.5%)を占めている。

〈県外観光客発地別入り込み割合の推移〉

年	鳥取	岡山	広島	山口	九州・沖縄	四国	近畿	北陸・東海	関東	東北・北海道
H19	8.7	9.2	24.4	8.7	5.9	5.1	18.5	6.2	12.1	1.2
H20	8.0	10.0	23.1	9.3	7.5	6.0	18.5	6.1	10.1	1.2
H21	7.5	9.7	22.6	9.7	7.1	7.0	19.4	6.9	9.1	1.0

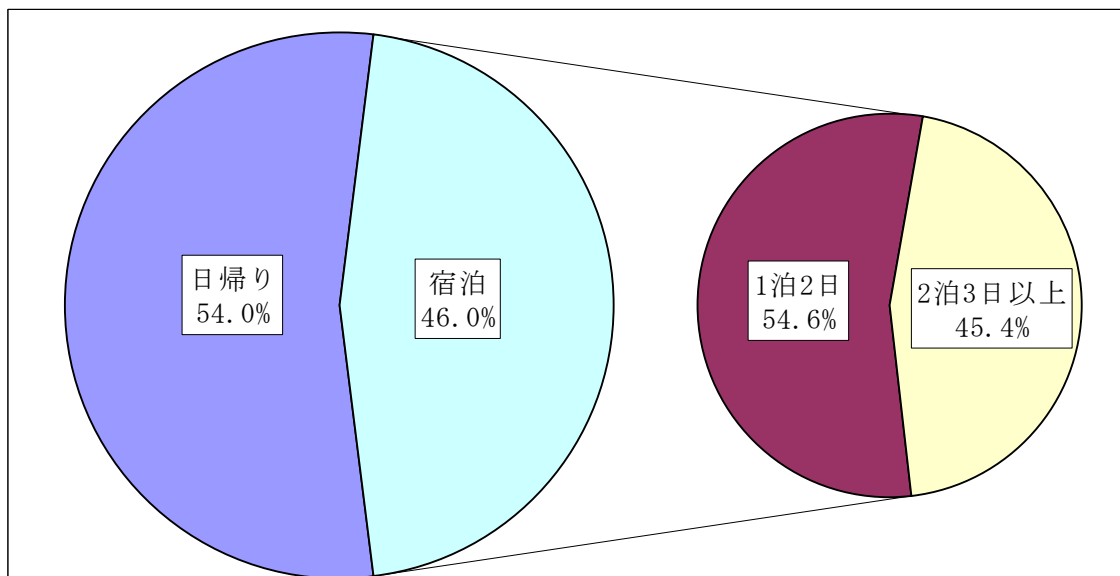
(2) 旅行回数

日帰りでは、約7割(69.9%)が「3回目以上」とリピータである。宿泊では、「初めて」が最も多く 42.1%、次いで「3回目以上」36.0%、「2回目」21.9%の順となっている。(なお、この項目は県外客のみに島根県への訪問回数を質問している。)



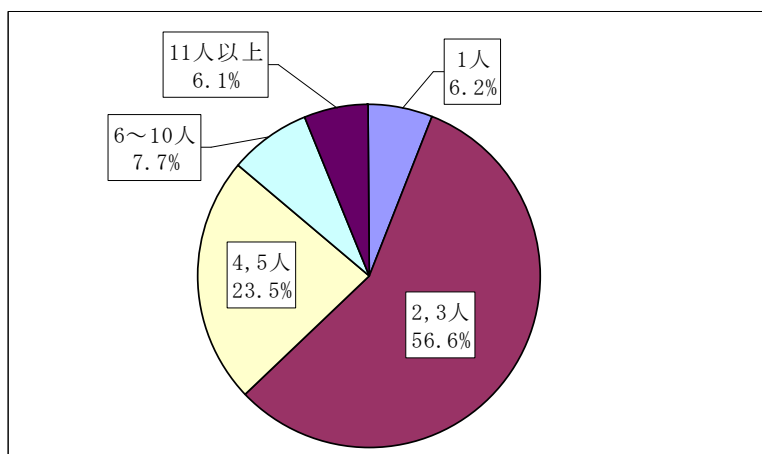
(3) 旅行日程

「日帰り」が 54.0%、「宿泊」が 46.0%と、日帰り客がわずかに宿泊客を上回っている。宿泊客のうち、「1泊2日」が 54.6%、「2泊3日以上」が 45.4%となっている。



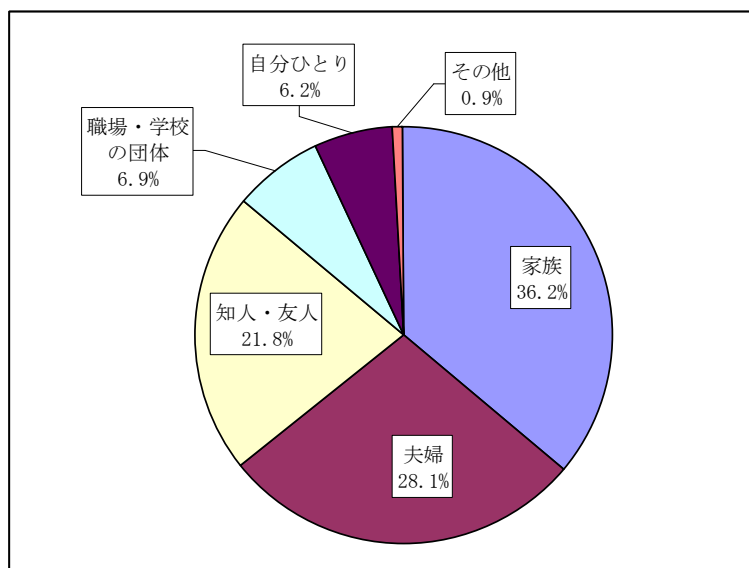
(4) 同行人数

日帰り、宿泊でほぼ同じ傾向であり、全体として「2, 3人」が最も多く全体の5割以上（56.6%）を占める。



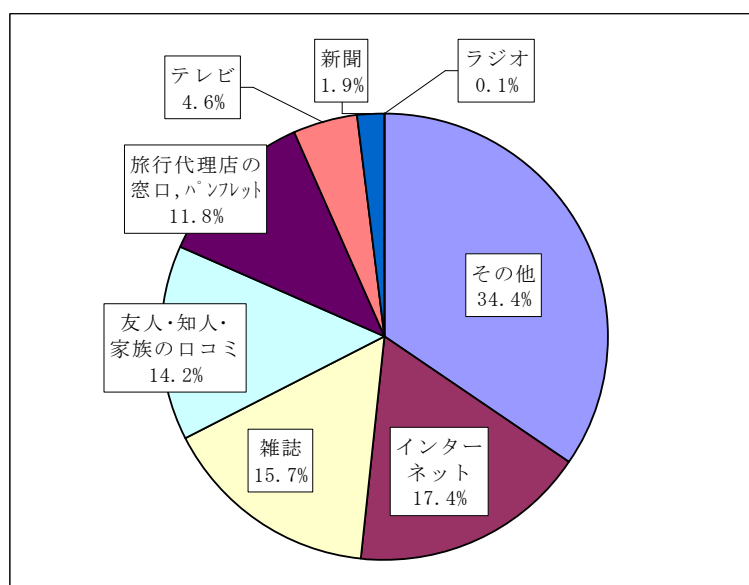
(5) メンバー構成

日帰り、宿泊でほぼ同じ傾向であり、全体として「家族」が最も多く36.2%、次いで「夫婦」28.1%であった。夫婦を含めた家族単位での訪問が全体の約6割強（64.3%）を占める。



(6) 旅行地を決定する際に参考とした情報源

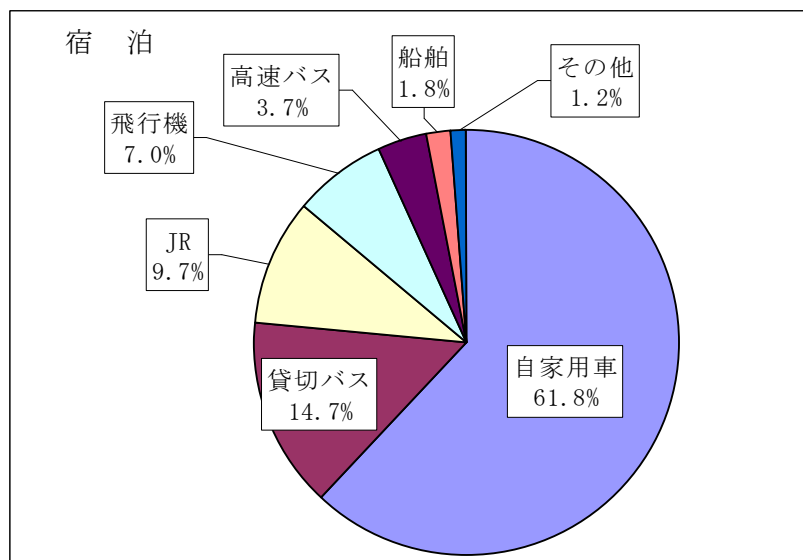
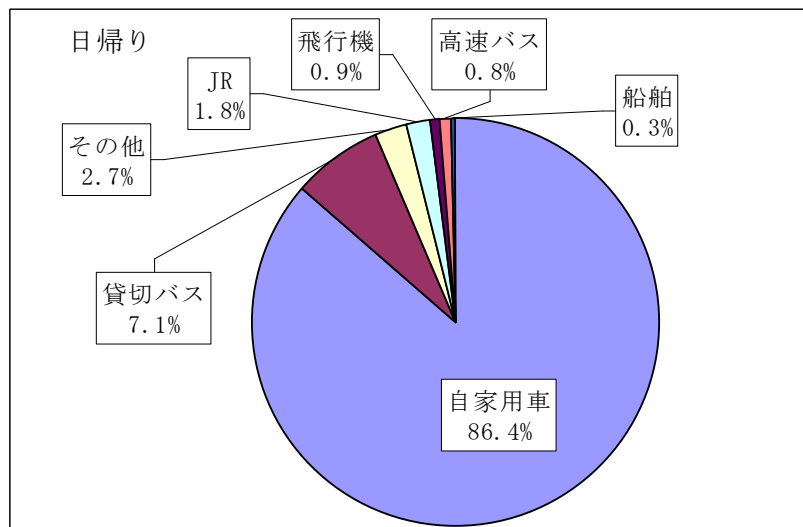
「インターネット」、「雑誌」、「ロコミ」、「旅行代理店の窓口、パンフレット」がほぼ同じ割合となっている。3割強ある「その他」は、「帰省のついで」、「以前も来たことがある」といった回答であった。



(7) 利用交通機関

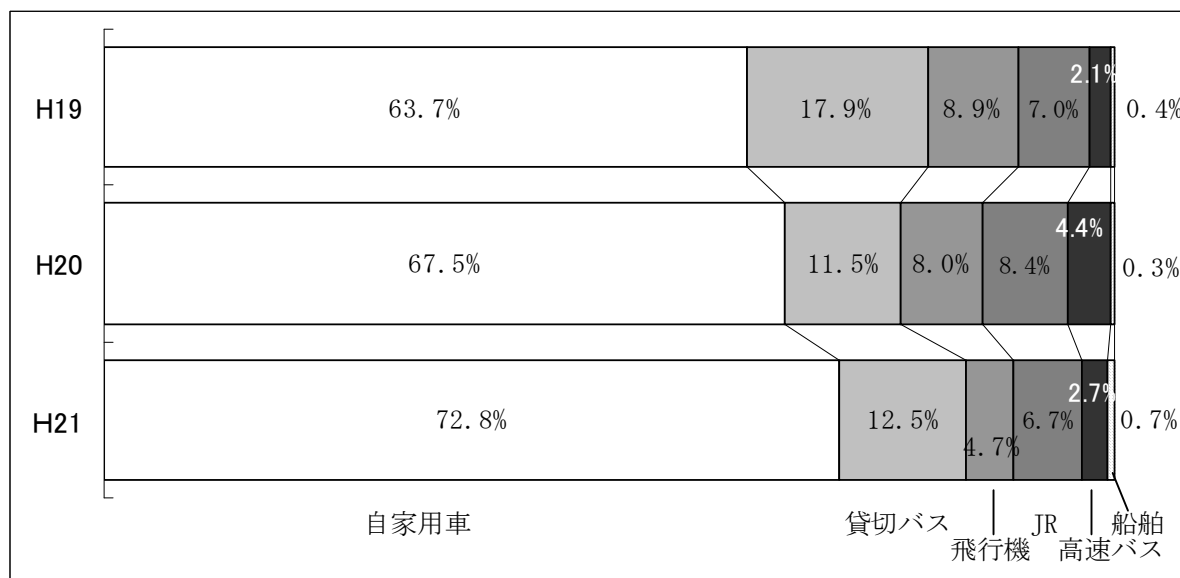
ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは自家用車が約8割(86.4%)、宿泊では自家用車が約6割(61.8%)と、昨年と比べ自家用車の利用率が上がっている。これは、ETC割引制度導入の影響と思われる。



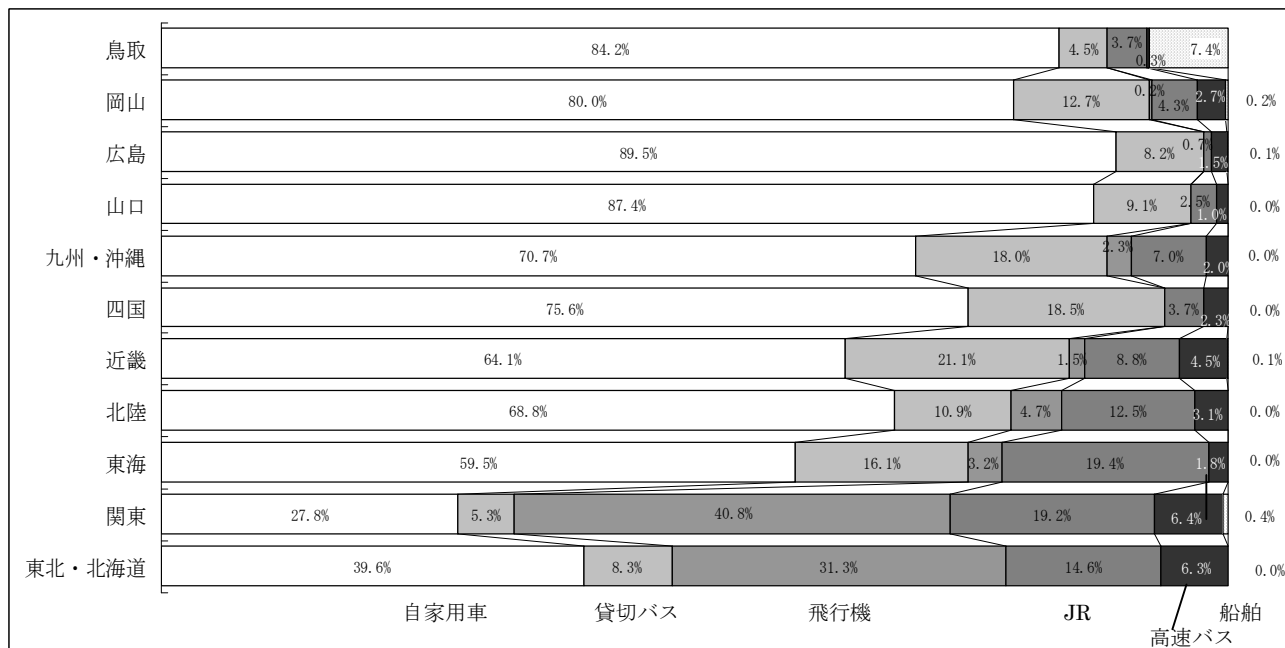
イ. 県外観光客入り込み割合

県外客について利用交通機関別にみると、自家用車が最も多く全体の7割強を占め、次いで貸切バス、航空機の順となっている。ETC割引制度導入の影響で自家用車の割合が増えた。



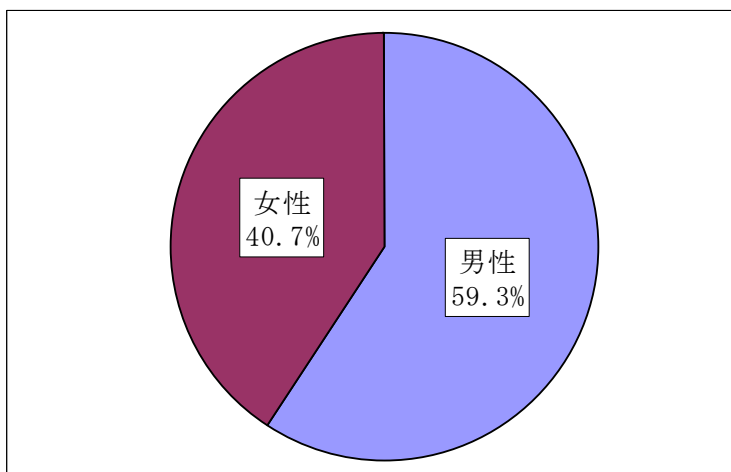
ウ. 地域別(県外)移動手段別割合

県外客について地域別にみると、中国、九州、四国、近畿、北陸、東海では自家用車が5割以上を占め、関東では航空機の利用が最も高くなっている。



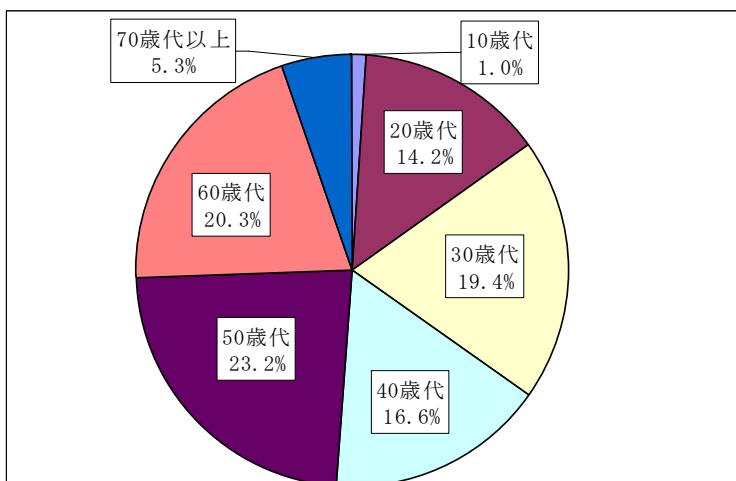
(8) 性別

日帰り、宿泊ではほぼ同じ傾向であり、全体として「男性」が約6割(59.3%)、「女性」が4割(40.7%)であった。



(9) 年齢

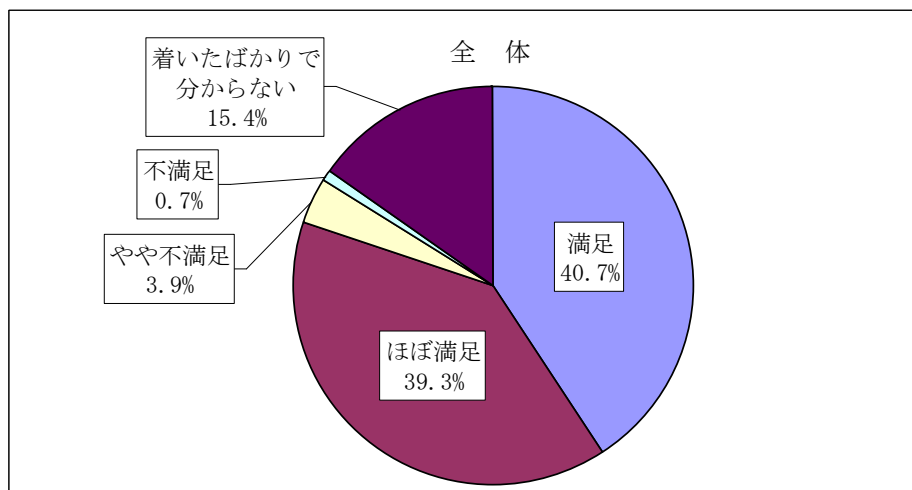
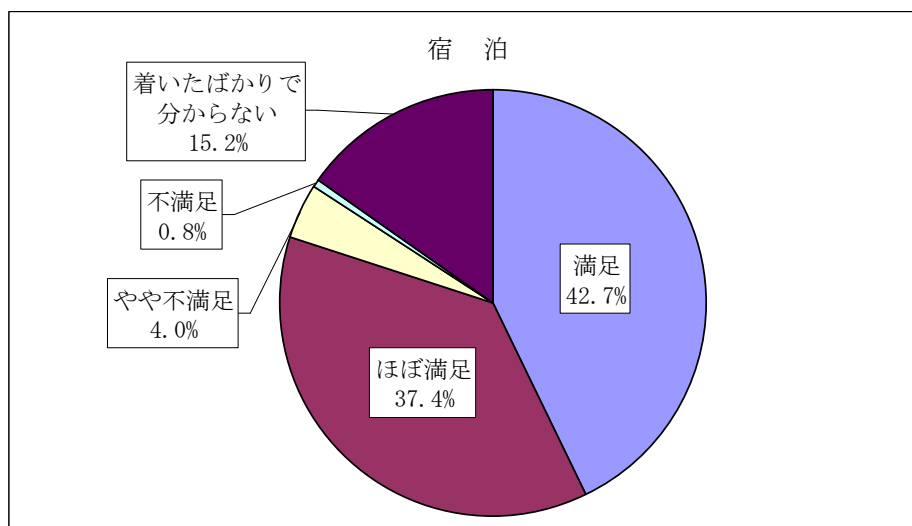
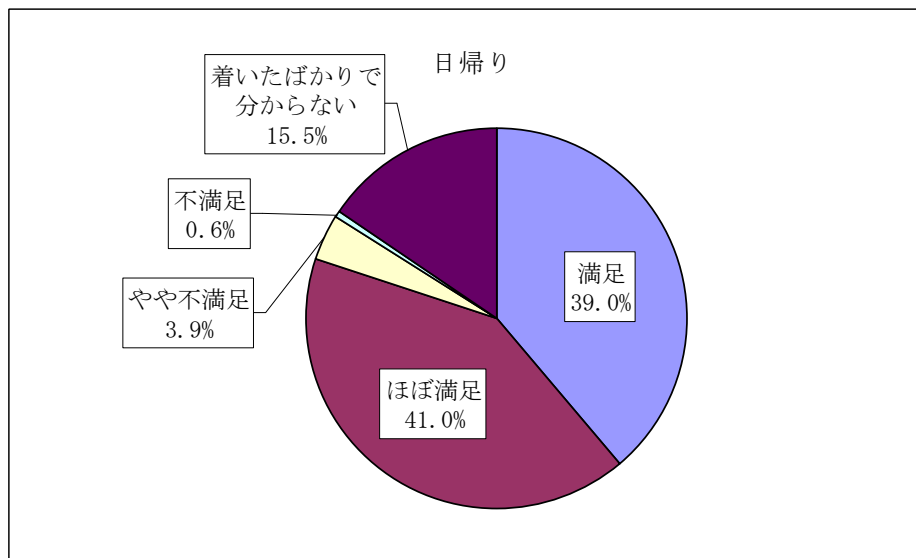
日帰り、宿泊ではほぼ同じ傾向であり、全体として「50歳代」が最も多く23.2%、次いで「60歳代」20.3%であり、50歳代以上が約半数を占めている。



(10) 満足度

日帰り、宿泊ともに、「満足」が最も多く、次いで「ほぼ満足」が多かった。

「満足」「ほぼ満足」を合わせると 80.0%（対前年比+0.4%）、「やや不満足」「不満足」を合わせると 4.6%（対前年比-1.7%）となっており、前年に比べて若干満足度が高くなった。



Ⅲ 調査結果

(データ編)